

第27回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム アンケート集計

平成28年1月16日(土)

藤沢リラホール

【アンケート集計結果】

◎回収枚数 71枚

【回答者情報】

◎居住地 県内 69 (市町村名回答なし1) 県外 2

(内訳)

県内:	横浜市	12	座間市	1	寒川町	4
	川崎市	2	平塚市	6	大磯町	2
	横須賀市	2	藤沢市	14	小田原市	2
	鎌倉市	2	茅ヶ崎市	7	中井町	1
	相模原市	4	秦野市	2	松田町	1
	厚木市	3	伊勢原市	2	山北町	1

県外: 東京都 2

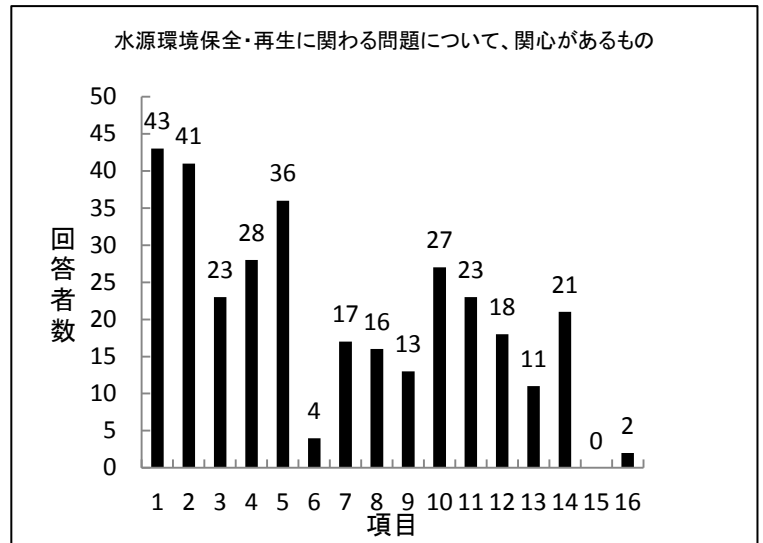
◎性別 男性 51 女性 17 回答なし 3

◎年齢(複数名回答者有)

~10代	0	50代	14
20代	2	60代	18
30代	4	70代	25
40代	7	80代	1

Q1 水源環境保全・再生に関わる問題について、関心があるものは何ですか(複数回答可)

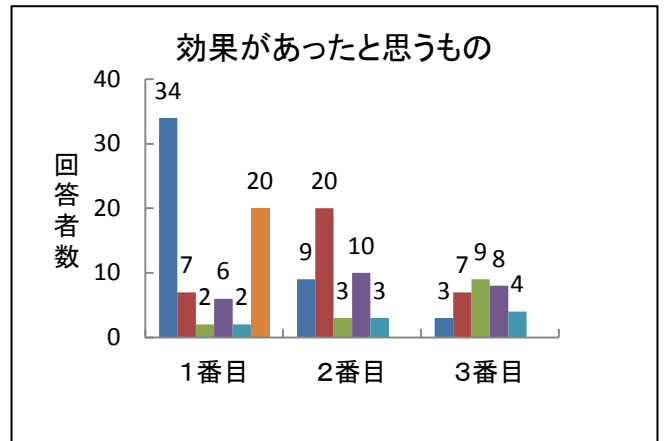
1	森林の保全	43
2	森林の多面的機能の発揮	41
3	林業の振興	23
4	木材の利用	28
5	生態系の保全	36
6	渇水への対応	4
7	水害や土砂災害への対応	17
8	気候変動による水循環への影響	16
9	ダム湖の水質	13
10	河川の水質	27
11	地下水の保全	23
12	水辺空間の保全・創出	18
13	市民活動の促進	11
14	水源環境の保全に関する理解・教育促進	21
15	その他	0
16	回答なし	2



Q2 神奈川県でのこれまでの水源環境保全・再生の取組みについて、効果があったと思うものは何ですか
また、今後力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか・効果があったと思う順、取り組む必要
があると思う順に3つお答えください

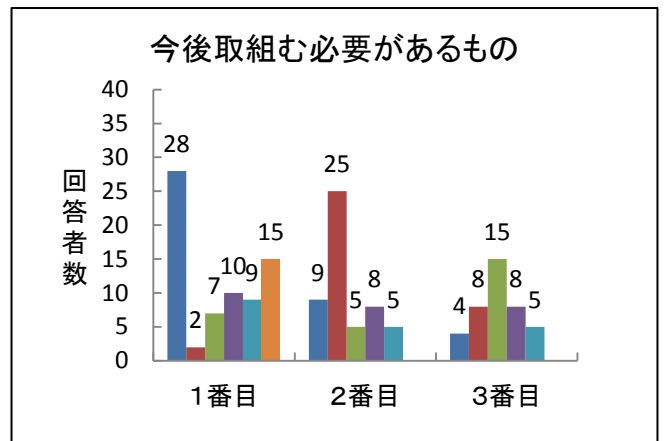
【効果があったと思うもの】

		1番目	2番目	3番目
1	森林の保全・再生	34	9	3
2	河川の保全・再生	7	20	7
3	地下水の保全・再生	2	3	9
4	水源環境への負荷軽減	6	10	8
5	相模川水系上流域対策の推進	2	3	4
6	回答なし			20



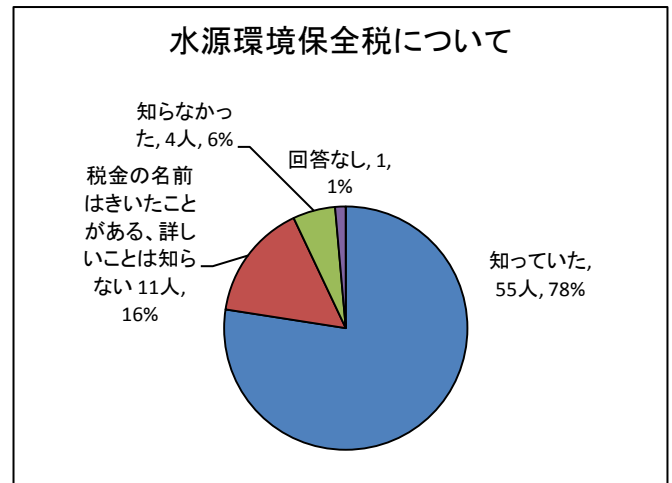
【今後取り組む必要があるもの】

		1番目	2番目	3番目
1	森林の保全・再生	28	9	4
2	河川の保全・再生	2	25	8
3	地下水の保全・再生	7	5	15
4	水源環境への負荷軽減	10	8	8
5	相模川水系上流域対策の推進	9	5	5
6	回答なし			15



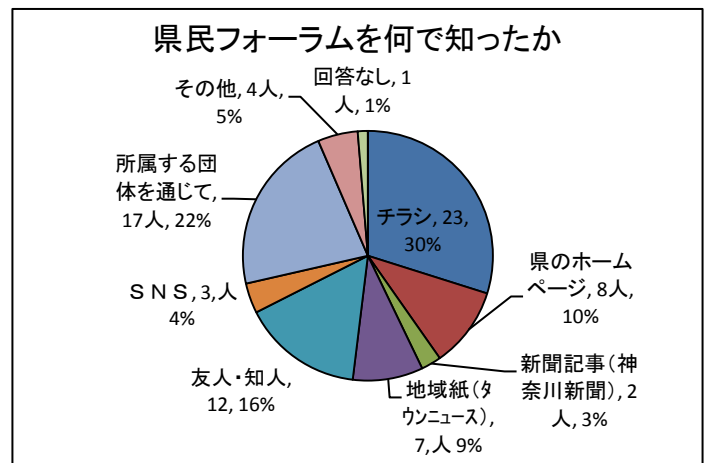
Q3 神奈川県では、平成19年度から個人県民税の超過課税(水源環境保全税:納税者一人当たり年額約890円)を県民の皆様にご負担いただき、これを財源に水源環境の保全・再生に取り組んでいます。このことについて、ご存知でしたか。

1	知っていた	55
2	税金の名前はきいたことがあるが、詳しいことは知らなかった	11
3	知らなかった	4
4	回答なし	1



Q4 今回の県民フォーラムを何でお知りになりましたか。(複数回答有)

1	チラシ	23
2	県のホームページ	8
4	新聞記事(神奈川新聞)	2
5	地域紙(タウンニュース)	7
6	友人・知人	12
7	SNS	3
8	所属する団体を通じて	17
9	その他	4
10	回答なし	1

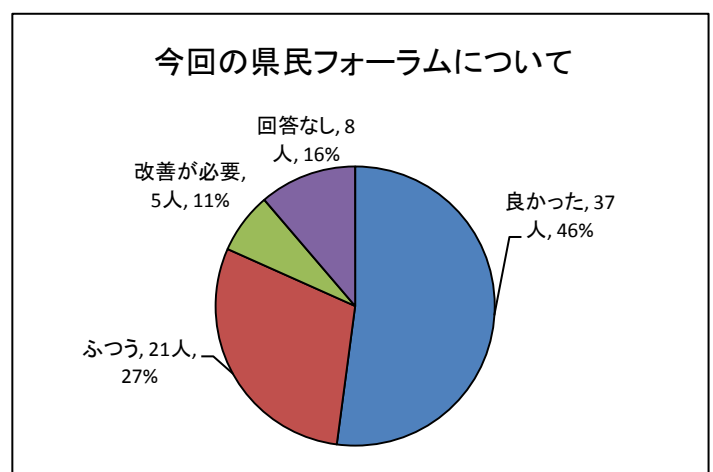


【その他の回答】

県のたより3名、かながわ森林インストラクターの会3名、FGS(藤沢グリーンスタッフ)3名、神奈川県政モニターOB会2名、桂川・相模川流域協議会2名、藤沢市せっけん推進協議会、厚木市役所、県民会議、県民会議OB、さむかわエコネット、相模川倶楽部

Q5 今回の県民フォーラムはいかがでしたか。

1	良かった	37
2	ふつう	21
3	改善が必要	5
4	回答なし	8



【良かった理由】

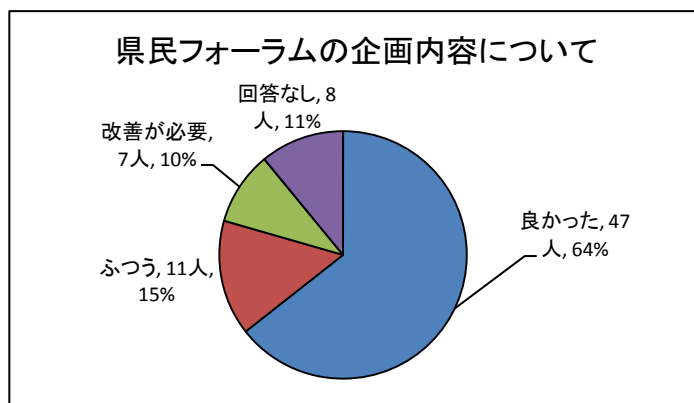
- ◎ 時期、開催場所、ミニ講演のテーマいずれも良かった
- ◎ ちょうどいい時間と内容だった
- ◎ 参加者が多かった
- ◎ 県の若手職員のキビキビした行動、ベストを着用した方々との連携が向上している
- ◎ 関心がある方が増えていること
- ◎ 普段聞けない話が聞けた
- ◎ 参加者の方々の意見が具体的に聞けた
- ◎ 小さく集まっていたのが良く、流域協議会の意見が強く出ていなかったのが良かった
- ◎ 相模川の生態系の話は参考になった

【改善が必要な理由】

- ◎ 内容は良かったがもう少し広い会場にした方がよい
- ◎ 同様の企画を県内各地で行い、より多くの県民に訴えることが必要
- ◎ 情報の少ない県民にもっと分かりやすいプレゼンが必要
- ◎ パワーポイント使用時、資料を読み上げるだけでなく、引き付ける工夫が必要
- ◎ 3講師の話を頂いたが、出来れば関連づける部分が欲しかった

Q6 今回の県民フォーラムの企画内容について

(1) ミニ講演		
1	良かった	47
2	ふつう	11
3	改善が必要	7
4	回答なし	8



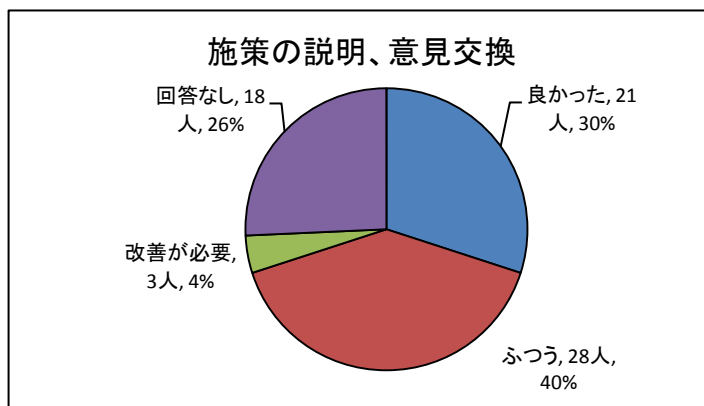
【良かった理由】

- ◎ 具体的な分かり易さがgood!
- ◎ それぞれの講師がそれぞれの立場でお話されていて良かった
- ◎ 奥山氏の講演が普段聞くことの出来ない内容で非常に興味深かった
- ◎ 実地で感じていることが知らされることが良いと思う
- ◎ 違う立場からの話で面白かった
- ◎ 森林組合がどのような組織なのかよく分からなかったが、池谷氏の話で少し分かった
- ◎ 奥山氏の講演、食文化だけでなく、水源環境保全に対する大切な仲間であることが分かった

【改善が必要な理由】

- ◎ 3人の講師が何をアピールしたいのか全く理解出来なかった。山北町のプレゼンは理解出来た。行政はもっと支援してやって欲しい
- ◎ 資料がカラーコピーだともっとわかりやすかった(費用の問題で仕方ないかと思うが)
- ◎ 吉村先生の話をもっと聞きたかった
- ◎ 3人ともスピーチを20分以内で出来ていなかった
- ◎ 奥山氏→後半写真映像が欲しい。池谷氏→話のストーリーがない

(2) 施策の説明、意見交換		
1	良かった	21
2	ふつう	28
3	改善が必要	3
4	回答なし	18



【良かった理由】

- ◎ 幅広い意見を聞くことが出来た
- ◎ 第3期でどのような事をしようとしているのか概要が分かった
- ◎ 具体的で良かった
- ◎ シかもブナも大切という意見が良かった
- ◎ 県民向けの情報開示が分かりやすかった
- ◎ 時間がちょうど良かった

【改善が必要な理由】

- ◎ 会場で直接意見交換はなかなか無理
- ◎ 時間が足りない
- ◎ お役所的で、資料の読み上げのみでは伝わりにくいと思う
- ◎ 質疑の時間があるともっとよい
- ◎ 事前に内容が分からず、会場に来て初めて分かった
- ◎ 答えが具体的ではない。生活排水の件のみ具体的だった
- ◎ 内容が多岐に渡り過ぎていて、本心まで出ていないと思う
- ◎ 写真もあり分かりやすい部分もあるが、数字・文字の表現があいまいで形式的になりそうな表現が多い

Q6 水源環境保全・再生の取組みに関してご意見・ご感想等をお聞かせください。

回答を希望される場合は、「回答を希望する」にチェックをつけてください。

回答は後日県水源環境保全課ホームページに掲載させていただきます。

ご意見・ご感想の内容を下記番号より選び、記載してください。(複数選択可)

- ①森林関係、②水関係、③県民参加、④県民フォーラムの内容・運営、⑤配布資料、⑥その他

【回答を希望する】 4件

※ 意見番号①、②

- ◎ 5か年計画は体系的ともいえるが、総花的にならないように重要度をどのように付けているのか。目標数値(箇所数や予算ではなく)を効果測定できるように、リン濃度目標のような、最終的な効果、結果指標を設定する必要がある。効果の上がる施策に集中する、優先度を設定することも必要と思う。結果指標にはわかりやすい一人当たり良質水割合や節減(リサイクル等)率も必要と思う。この意味でモニタリングは良い、大いに結果を活かしてほしい

※ 意見番号①

- ◎ 大面積のスギ・ヒノキ人工林の間伐時、何か所にギャップを設け、野鳥の好む実のなる広葉樹(ヤマボウシ・ホウノキ・ナナカマド・イイギリなど)を、場合によっては客土や施肥を行って植栽するとよいと思う。大面積な人工林であると広葉樹の種子供給が埋土種子だけでは不十分と思う。水源環境保全税のあるうちに、混交林を早期に導くことのできる手立てを施しておくことが必要と考える。鳥散布による人工林内への広葉樹の拡大による混交林化が期待できると考える

【回答を希望する】

※ 意見番号⑥

- ◎ 調整中の9番事業「相模川水系上流域対策の推進」の山梨県と調整した事業費は、他の事業費に影響するのか

※ 意見番号②

- ◎ 水源環境保全税について、上水道は生活用以外にも、企業が使う産業用途も多くあると思うが、企業からも水源環境保全税を徴収しているのか。徴収しているのであればその割合は。徴収していないのであればその理由は？

【回答を希望しない】 11件

※ 意見番号①

- ◎ ・クマによる剥皮被害対策、・未立木地への植栽、・主伐(更新)の促進について、拡充を検討して頂きたい

※ 意見番号④

- ◎ 水源環境保全・再生施策に、より県民の意見を反映するため、より多くの県民の理解を得るため、県民フォーラムの規模を大きくする、開催回数を増やすことを検討されたい

※ 意見番号①、②

- ◎ 水源保養林の区域を地図に示してほしい。私有林の割合はどのくらいか。健全度の高い水源保養林にするためには、何の施策が効率的に向上に寄与するのか。水源保養林の面積は一定か。それとも拡大しているのか

※ 意見番号①

- ◎ 現在の原木価格では木材を生産することは非常に難しい。森林が荒廃することは自然環境が短期間に悪化することになる。山が荒れれば、源流からの水が変化し、山崩れ、大水、沿岸地帯の海の水質悪化、水産資源に悪影響と、悪化のサイクルがますます大きくなり、飲料水までおかしくなる。悪化が進むと簡単には状況の改善が不可能になる。河畔林の確保、天然林と人工林のバランス、すべての出発点は原木価格が出発点であり、行政支出の使用面での考え方を変える必要がある

※ 意見番号①

- ◎ 水源環境保全・再生のために、森林づくりが大切であり、とてもお金がかかるということがよくわかった。税金を使ってこのような事業をすることは必要と感じる。しかし、こうした森林づくりにかかわっている方々が経済的に厳しい状況であることも、ミニ講演を聞いてよくわかった。やはり木の価値が低いということに驚いた。どうして神奈川県の木は安いのに、大量のパルプをアジアから輸入しているのかよくわからない。森林の価値を上げるためにFSC認証を取るなど、もう少し保全とあわせて木材を利用してもらうためのPRも必要ではないか

※ 意見番号①

- ◎ 間伐材の利用がお金になるような各種の方策・施策を実施し、山林の保全に積極的に取り組む。森林組合、林業家が増えるような取組みをしてほしい

※ 意見番号なし

- ◎ 藤沢市では学校給食で使う食器を石けんで洗っている。神奈川県でも進めている、生活排水の問題を生活者に伝える術を多く持ってほしいと思う

※ 意見番号なし

- ◎ 都市住民の理解を深めるために県民参加のかたちをとるのはよいと思うが、ボランティアに依存するような森林整備はおかしい。仕事として成り立つよう、さらに工夫すべきである

※ 意見番号なし

- ◎ 地球温暖化問題に関係したボランティアを10年間やってきた。最近の異常気象、水不足の問題など世界的な問題が取り上げられてきた。日本国内で水資源の確保、地下水の問題など、身近な問題が現実化しつつある。今回の「県民フォーラム」も当然関連していると考えて参加したが、「実行5か年計画(素案)」を見ても、内容は難しく、単語も理解できず、「何が問題なのか」が判断できなかった。県民にもっとわかりやすい言葉と分析で説明してほしい。山北町森林組合の問題など、行政と何を検討しているのか、もっと具体的に報告してもらいたかった

【回答を希望しない】

※ 意見番号なし

- 材木の利用拡大について、今、テレビなどで木材を使った家具インテリアなどが紹介され、いいアイデアがたくさんある。ホームセンター等との連携なども考えたかどうか。和室、座卓いすにあったテーブル(焼板)のアイデアもおもしろく、是非欲しいと思った。いつまでも、まな板利用だけでは駄目である。イチョウのまな板は重いし、乾かすのも大変、若い人、老人には無理である。また、水源の森には関係ないかもしれないが、里山の小川の整備も必要ではないか。大磯磯の池付近の両岸は草が茫々、粗大ごみ捨て場になっているのは残念である

※ 意見番号なし

- ◎ 藤沢市民で日頃、このホールを利用しているが、なぜこのような小ホールで県民フォーラムを開催したのか。参加者が集まらないからなのか